

◆地理的分野の重点項目とその系統



編	章	自然・環境・防災	人口・都市・開発	産業・資源・エネルギー	交通・通信・貿易	生活・文化・国土	学習の方法・技能
第1編 日本の地域構成 世界と	第1章 世界の地域構成	六大陸と三大洋 (p.11) 地球儀と緯線・経線 (p.12) 日本の季節はどう変わるか (p.13)	人口の多い国と少ない国 (p.17)		パスポート(旅券) (p.19)	面積の大きな国と小さな国 (p.17) 世界の国旗・国境・国名 (p.18～19)	地球儀と世界地図の違い (p.14～15) 世界の略地図を描く (p.11, 15)
	第2章 日本の地域構成	日本の東西南北端の島々 (p.22)	47都道府県 (p.26～27)		北方領土での民間交流 (p.24)	日本の領域 (p.22～23) 領土をめぐる課題 (p.24～25)	地球上の日本の位置関係と時差 (p.20～21) 日本の略地図を描く (p.27)
第2編 世界のさまざまな地域	第1章 世界の人の生活と環境	世界の気候帯 (p.30～31) 熱帯の自然環境 (p.32～33) 乾燥帯の自然環境 (p.34～35) 温帯の自然環境 (p.36～37) 冷帯・寒帯の自然環境 (p.38～39) 高地の自然環境 (p.40～41)	遊牧や狩猟で生活する人々の定住化 (p.34, 38)	熱帯地域の焼畑農業 (p.32) 乾燥地域における家畜の遊牧 (p.34) 太陽光発電を装備した移動式住居 (p.34) 高地における家畜の放牧 (p.40)	馬から自動車への移動手段の変化 (p.34) 犬ぞりからスノーモービルへの移動手段の変化 (p.38)	マレーシアの暮らし (p.32～33) モンゴルの暮らし (p.34～35) ヨーロッパの暮らし (p.36～37) カナダの暮らし (p.38～39) アンデスの暮らし (p.40～41) 世界の民族と言語 (p.42～43) 世界の民族と宗教 (p.44～45)	気温と降水量のグラフの読み取り (p.31) 撮影地を地図帳で確かめる (p.33, 35, 37, 39, 41)
	第2章 世界の諸地域	アジアの自然環境 (p.50～51) 中国の環境問題 (p.57) ヨーロッパの自然環境 (p.68～69) ロシア連邦の自然環境 (p.78) アフリカの自然環境 (p.84～85) 北アメリカの自然環境 (p.94～95) 南アメリカの自然環境 (p.108～109) オセアニアの自然環境 (p.120～121)	ソウル市の人口集中 (p.53) 中国の人口問題と民族の多様性 (p.54～55) アラブ首長国・ドバイの都市開発 (p.62) 都市国家シンガポール (p.64) アメリカ合衆国の多民族社会の課題 (p.102～103) 南アメリカの多文化社会 (p.110～111) アマゾン川流域の開発と環境 (p.112～113) ブラジルの人口集中と都市問題 (p.115) ブラジルの日系移民の社会 (p.116) オセアニアの先住民 (p.123)	韓国の経済発展と日本との交流 (p.52～53) 中国の経済発展と都市生活 (p.56～57) 東南アジアの一次産品と工業化 (p.58～59) インドの農業・工業とICT産業 (p.60～61) 西アジアの原油と中央アジアのレアメタル (p.62～63) ヨーロッパの農業と工業 (p.72～75) ヨーロッパの環境対策とエネルギー (p.76～77) アフリカの農業の課題 (p.86～87) アフリカのモノカルチャー経済 (p.88～89) アメリカ合衆国の農業 (p.96～97) アメリカ合衆国の先端技術産業 (p.98～99) アメリカ合衆国の軍勢力 (p.104) 南アメリカのモノカルチャー経済 (p.114～115) オーストラリアとニュージーランドの特色ある産業と進展 (p.122～123)	東南アジア諸国連合と日本の貿易 (p.59) 石油輸出国機構と産油国 (p.62) ヨーロッパ連合による地域統合 (p.70～71) ロシアとヨーロッパ連合の結びつき (p.78～79) アフリカのカカオ生産とフェアトレード (p.86) オセアニアとアジアの結びつき (p.124～125)	中華料理の地域による違いと変化 (p.55) タイの工業化と格差拡大 (p.59) バングラデシュの社会問題 (p.61) サウジアラビアのイスラム教徒 (p.63) ヨーロッパのキリスト教文化 (p.69), 食文化 (p.73) EU統合の課題 (p.80) アフリカの歩みと課題 (p.90) アメリカ合衆国の都市生活と消費文化 (p.100～101) カナダの多文化主義 (p.103) アマゾン川流域の開発と先住民の生活 (p.113) サモアの人々の暮らし (p.121) ツバルの人々の暮らしと危機 (p.125) パラオ・パプアニューギニアの暮らしと社会 (p.126) カレーからみた食文化～インドを例に (p.128)	世界の油田分布と原油輸出の読み取り (p.63) ヨーロッパ連合加盟国の経済格差の読み取り (p.71) アフリカ各国の輸出入の特色の読み取り (p.89) アメリカ合衆国の農業分布図の読み取り (p.97) 世界の森林面積の変化の読み取り (p.113) オセアニアの位置と国々の読み取り (p.120)
第3編 日本のさまざまな地域	第1章 地域調査の方法を学ぼう	地域にある災害記念碑を調べる (p.136, 142～143) 地域のハザードマップ (p.143) 災害図上訓練 (p.143)	市域の拡大と、人口構成の変化 (p.144) 都市化と災害被害の拡大 (p.145)		地域の交通網の発達 (p.141)	名古屋市有松地区の伝統的景観と「有松絞りまつり」 (p.146)	調査の見通しを立てる (p.134～135) テーマに応じた調査方法 (p.136～137) 地形図の活用(地図記号と縮尺, 等高線と地形図の新旧比較) (p.138～141) 調査結果をまとめる (p.144～145)
	第2章 日本の特色と地域区分	日本の気候区分 (p.148) 季節予報を発表する時の気象庁の地域区分 (p.149) 世界の地震と火山の分布 (p.150～151) 日本の地形 (p.152～155) 日本の気候 (p.156～157) さまざまな自然災害 (p.158～159) 防災と自助・共助・公助 (p.160～161)	都道府県別の人口分布 (p.148) 世界と日本の人口の分布と変化 (p.162～163) 人口の過疎・過密と人口減少社会 (p.164～165)	都道府県別の工業生産額の分布 (p.148) 外国に依存する資源, 日本の電力の課題 (p.166～167) 日本の産業地域 (p.168～169) 日本の工業地帯・工業地域と出荷額の割合 (p.169)	鉄道会社(JR)の営業地域区分 (p.149) 日本発着の主な航空路線, 国内の高速交通網の発達 (p.170～171)	日本各地の雑煮 (p.149)	地理情報システム(GIS)を利用して作成された地図 (p.170)
	第3章 日本の諸地域	九州地方の自然環境 (p.176～177) 九州地方の火山とシラス台地 (p.178～179) 沖縄県の観光と環境保全 (p.184～185) 中国・四国地方の自然環境 (p.191) 近畿地方の自然環境 (p.205) 琵琶湖の開発と環境保全 (p.212～213) 中部地方の自然環境 (p.218～219) 関東地方の自然環境 (p.232～233) 東京都の水害対策とヒートアイランド現象 (p.242) 東北地方の自然環境 (p.246～247) 北海道地方の自然環境 (p.260～263)	中国・四国地方の人口 (p.190～191) 広島市の都市の発達 (p.192～193) 中国・四国地方の人口減少 (p.194～195) 地域おこし (p.196～197) 持続可能な地域づくり (p.200) 京阪神大都市圏～三つの中心都市 (p.210) 名古屋大都市圏 (p.219) 浜松市の多文化共生の取り組み (p.228) 東京の首都機能 (p.234～235) 人々の移動と都市の拡大 (p.236～237) 増加する外国人 (p.241) 東北地方の農村の変化と工業化 (p.252～253) 東北地方の中心都市 仙台市 (p.253)	九州地方の施設園芸, 畜産と循環型農業 (p.180～181) 北九州工業地域の発達と変化 (p.182～183) 水俣病と地域社会 (p.186) 阪神工業地帯の歴史と再開発 (p.208～209) 紀伊山地の林業 (p.214) 中京工業地帯と東海工業地域 (p.220～221) 東海地方の農業と水産業 (p.222～223) 中央高地の産業と観光 (p.224～225) 北陸地方の地場産業と稲作 (p.226～227) 京浜工業地帯と京葉工業地域, 北関東工業地域の発達 (p.238～239) 大都市と結びつく近郊農業 (p.239) 東北地方の農業の多角化 (p.254～255) 北海道の大規模な農業 (p.264～265) 北海道の漁業 (p.266～267)	本州四国連絡橋の整備と地域の変化 (p.198～199) 京阪神大都市圏の発達と交通 (p.210～211) 名古屋大都市圏 (p.219) 東京大都市圏の発達と交通 (p.236～237) 関東地方と国際的な結びつき (p.240～241) 北海道の観光と地域振興 (p.268～269)	地域おこし協力隊 (p.195) 持続可能な地域づくりを考える (p.200) 畿内地域の歴史 (p.204～205) 京都市の景観保全 (p.206～207) 東北地方の食文化と伝統的工芸品 (p.248～249) 東北地方の祭りや観光 (p.250～251) 東日本大震災から復興の取り組み (p.256) アイヌ民族と北海道の開拓 (p.260～261) 寒冷な気候に対応した暮らし (p.262～263) アイヌ民族の文化と民族共生象徴空間 (p.270～271) ジオパーク (p.273)	九州地方の火山分布の読み取り (p.179) 中国・四国地方の人口変化の読み取り (p.195) 京都市, 大阪市, 神戸市への通勤・通学者の分布の読み取り (p.211) 日本の漁獲量変化と主な漁港の分布の読み取り (p.223) 東京の昼夜間人口の変化の読み取り (p.235) 東北地方の地形の特色の読み取り (p.247) 北海道の農業規模の読み取り (p.264)
	第4章 地域のあり方	神戸市の阪神・淡路大震災からの復興と災害に強いまちづくり (p.277)	人口の減少と流失による農村地域の衰退 (p.274～275) 人口増減に関わる都市の課題 (p.276～277) 高知市の公共施設の統合 (p.276) 多摩ニュータウンの開発と住民の高齢化 (p.278～281)		大阪市営地下鉄の民営化 (p.276) 自動運転によるバスの走行実験 (p.279)	農村地域の活性化の取り組み (p.275)	地域の課題の調査 (p.278～279) 課題解決の提案 (p.280～281)
巻頭・巻末・折込	世界のさまざまな風景－世界遺産 (巻頭1～2) 宇宙からとらえた日本列島 (p.130～131)	オリンピックの開催国・都市 (p.129)	世界の主な家畜・主な鉱産物 (巻末1) 世界の主な農産物 (巻末2～3)		日本の世界遺産 (p.132)	地図のきまり (p.6) 地図帳の使い方, 地図上の位置の表し方 (p.7) 人口ピラミッド (p.8)	